

# 日本映画学会会報

## 執筆マニュアル

日本映画学会会報は、依頼原稿とともに、投稿も受け付けております。以下の執筆マニュアルにしたがってご執筆いただければ幸いです。また、統一などのために多少の編集を加えることを予めご了承ください。

1 執筆言語：日本語または英語。

2 使用ソフト：MSWORD をお願いします。文字は 10 ポイントで一行の字数は 51 文字をお願いします。また、フォントは Meiryo UI で、文字色は少しだけ青がかった黒をお願いします。

3 カテゴリーと分量

視点：映画学ならびにその関連分野に関する学術的内容を含んだ文章をお願いします。4000 字以上を目安とします。

書評：学会会員刊行の書籍の書評です。映画学ならびにその関連分野の書籍であること、学術研究書、概説書、啓蒙書(翻訳書を含む)など学術的価値のある書籍であること、論文集の場合は 2 名以上の会員が関わっていることを条件としますが、対象書籍は恵贈書籍のなかから編集局が選定します。学術研究書単著の場合は 4000 字程度、その他は 4000~2000 字程度を目安とします。なお、書評には、紹介に加えて、評価をお願いします。また、事情によっては、執筆者に自己紹介をお願いすることもあります。

新入会員自己紹介：ご自分の現在の研究課題あるいは研究履歴などに関して、2000 字以上を目安としてお書きください。

\* その他、会員製作の映画などを取り上げることもあります。

4 書式：学会誌同様、MLA方式をお願いします。学会誌の書式規程をご覧ください。註と引用文献リストは、必ずしも必須ではありませんが、必要な場合はこれも MLA方式にしたがってください。また、編集しやすいように、オート機能、過度な修飾機能の使用などはお控えいただければ幸いです。

\* MLA方式に関しましては、*MLA Handbook for Writers of Research Papers*, 6th ed.(2003)以降の版、またはその邦訳版『MLA 英語論文の手引』(北星堂書店)をご覧ください。ただし下線の代わりにイタリックを用いてください。また註は巻末註(endnotes)とします。英語以外の資料の書式も MLA方式に準じます。なお、上記 MLA Handbook の要点をまとめたものとして、次のガイドブックがあり、日本語訳も刊行されています。Joseph F. Trimmer. *A Guide to MLA Documentation: With an Appendix on Apa Style*. New York: Wadsworth Pub Co, 2012.(トリマー、ジョゼフ・F『MLA 英語論文作成ガイド——補遺・APA 方式』第 8 版、英光社、2011 年。)

5 氏名、タイトル、ご所属(掲載時)を最初にお書きください。

6 締切：2 月末、5 月末、8 月末、11 月末です。なお、掲載時期などは編集長と事務局の判断にお任せください。